

## 令和 3年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	長野 森井
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		経常的経費		<b>内線</b>	3254
<b>事務事業名</b>	14626 小規模水道施設維持管理事業										
<b>所 属</b>	121000 市民環境部・生活環境課										
<b>施 策</b>	16023200 水環境の保全と水道水の安定的な供給										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	040301 衛生費・水道費・水道費									
	<b>事業</b>	010000 小規模水道施設維持管理事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給する。						峰の原地区の住民に安心して安定的な水を供給するために、適切な維持管理を行う。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>令和 2年度 実績</b>	<b>令和 3年度 予定</b>
区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努めた。	区域内住民へ安全安心な水の安定給水の維持確保に努める。
<b>令和 4年度 予定</b>	<b>令和 5年度 予定</b>
<b>令和 6年度 予定</b>	<b>令和 7年度 予定</b>

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		3,698	4,490
特定財源	国庫支出金	178	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5,930	1,879
一般財源		△2,410	2,611
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.3	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,574.4	6,271.2
	嘱託職員	944.7	1,889.4
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,519.1	8,160.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		10,217.1	12,650.6

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,827	消耗品費333、燃料費36、電気料676、修繕料782
12節 委託費	348	施設管理委託料33、水質検査委託料315
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,202	水道局負担金(分水の水道料、二ツ双水源ポンプ電気料)
その他	321	郵便料40、電話料43、手数料29、借上料(共架料)13、システム使用料(残塩計)198

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	2,418	消耗品費100、燃料費18、電気料1,500、修繕料800
12節 委託費	1,121	施設管理委託料766、水質検査委託料322、量水器取付委託料33
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	951	郵便料50、通信料110、手数料14、借上料（共架料）23、システム使用料（残塩計）262、備品購入費515

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	安全安心な水道水の安定供給に努める。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中については、水源地を所有する仁礼会の協力をいただき、隣接する水道局の須坂市峰の原水道から分水による水の提供を受け、仮配管による水の供給を行った。</li> <li>11月の工事完了後は新施設による給水を開始した。</li> </ul>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	市役所から遠距離に位置する水道施設を維持管理するため、クラウドによる遠方監視システムを導入し、給水残留塩素濃度、井戸や配水池の水位、ポンプ運転状況などを市役所パソコンや職員スマホで確認できるものとした。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> <li>11月に施設全体工事のしゅん工式を行い、新施設による給水を開始した。</li> <li>原水・浄水の水質検査の実施、クラウドによる遠方監視システムの活用などによる施設の適正な維持管理を行い、安全安心な水道水の安定供給を図った。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、手洗いやうがい等による感染拡大予防を目的として、10月請求分の水道料金から基本料金2カ月分を減額した。</li> </ul>

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き、区域内住民へ安心安全な水道水の安定供給に努める必要がある。		1次評価と同様。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	